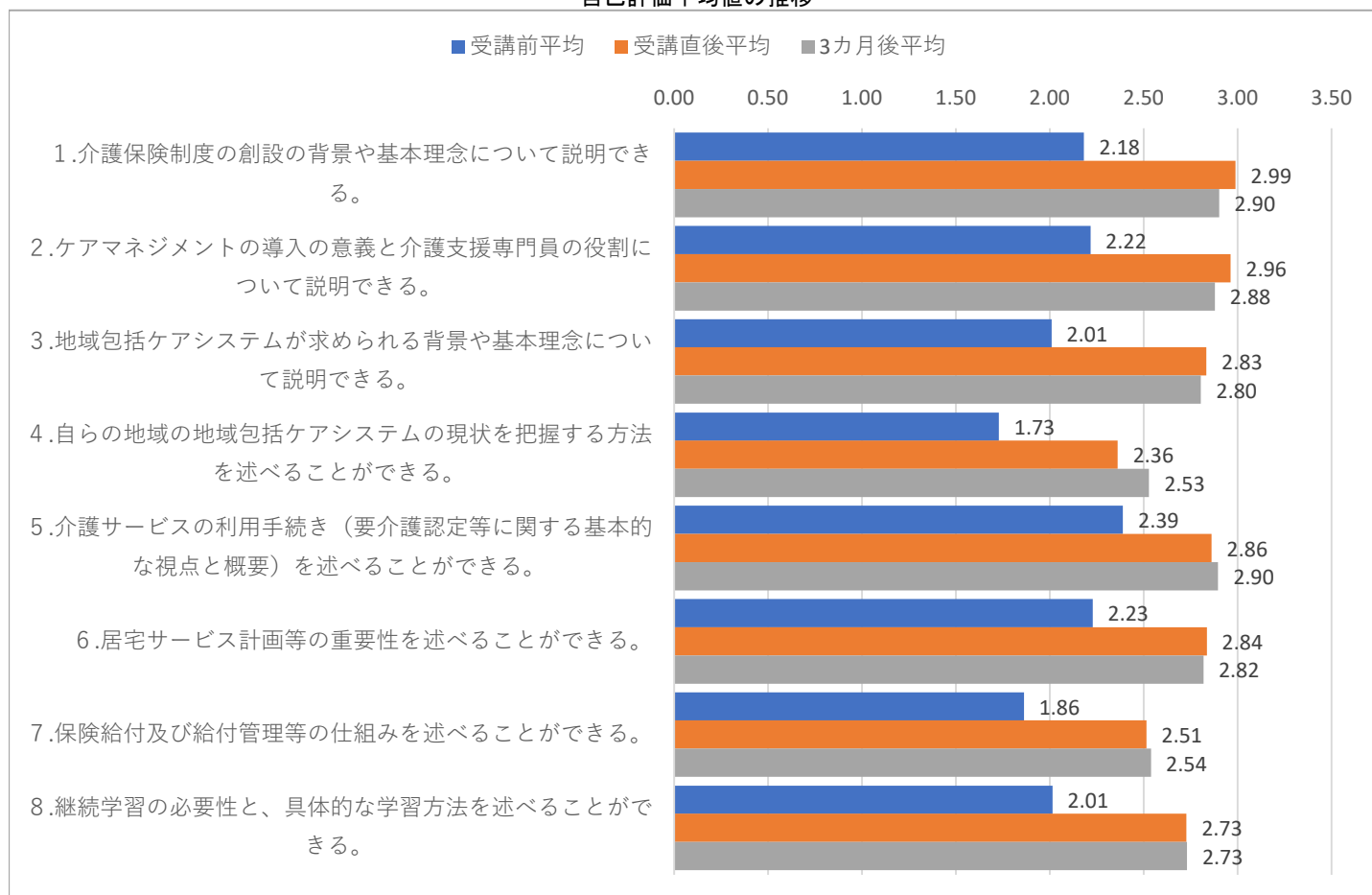


①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント

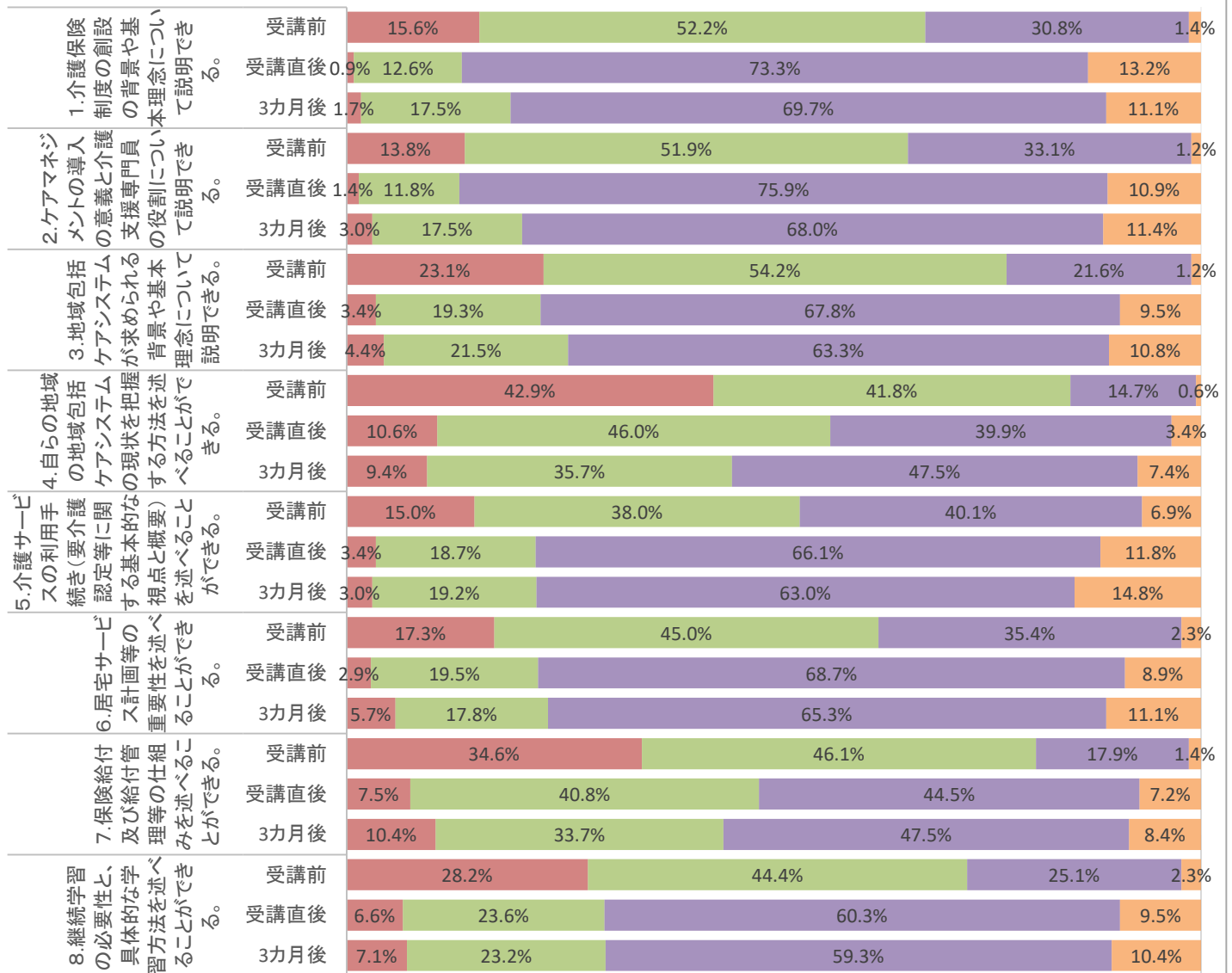
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 介護保険制度の創設の背景や基本理念について説明できる。	2.18	2.99	2.90	0.72	0.81	-0.09
2. ケアマネジメントの導入の意義と介護支援専門員の役割について説明できる。	2.22	2.96	2.88	0.66	0.75	-0.08
3. 地域包括ケアシステムが求められる背景や基本理念について説明できる。	2.01	2.83	2.80	0.80	0.82	-0.03
4. 自らの地域の地域包括ケアシステムの現状を把握する方法を述べることができる。	1.73	2.36	2.53	0.80	0.63	0.17
5. 介護サービスの利用手続き（要介護認定等に関する基本的な視点と概要）を述べることができる。	2.39	2.86	2.90	0.51	0.47	0.03
6. 居宅サービス計画等の重要性を述べることができる。	2.23	2.84	2.82	0.59	0.61	-0.02
7. 保険給付及び給付管理等の仕組みを述べることができる。	1.86	2.51	2.54	0.68	0.65	0.02
8. 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。	2.01	2.73	2.73	0.72	0.71	0.00

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

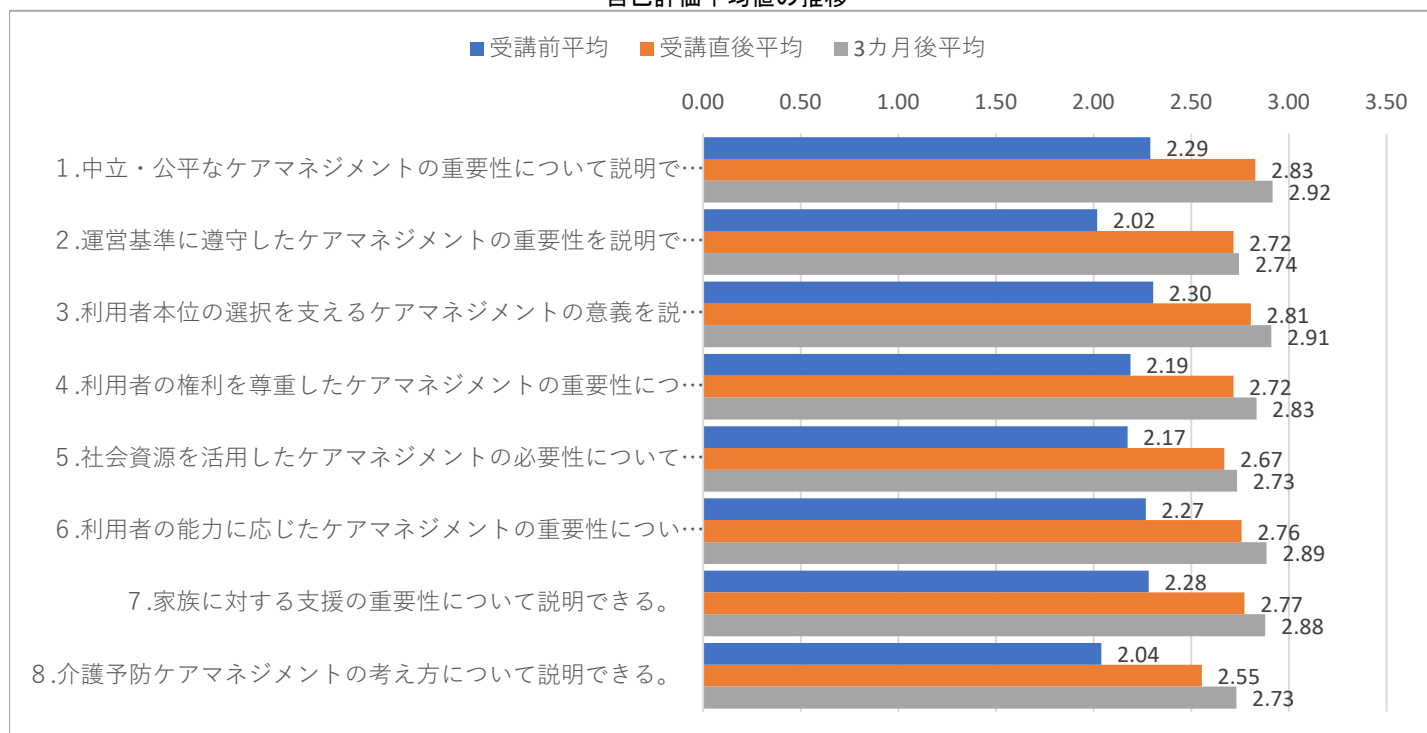
■ 1できない ■ 2あまりできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



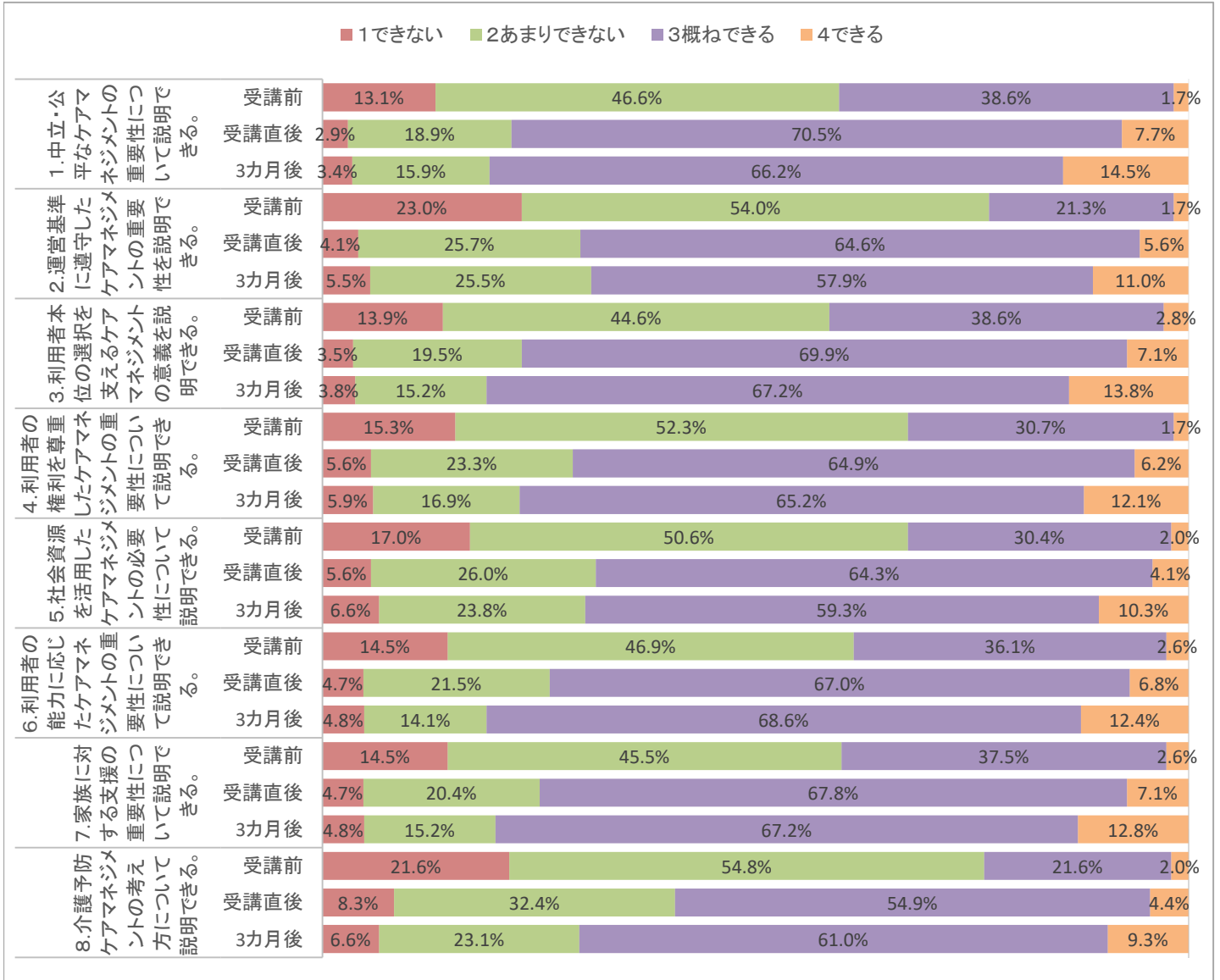
②自立支援のためのケアマネジメントの基本

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 中立・公平なケアマネジメントの重要性について説明できる。	2.29	2.83	2.92	0.63	0.54	0.09
2. 運営基準に遵守したケアマネジメントの重要性を説明できる。	2.02	2.72	2.74	0.73	0.70	0.03
3. 利用者本位の選択を支えるケアマネジメントの意義を説明できる。	2.30	2.81	2.91	0.61	0.50	0.11
4. 利用者の権利を尊重したケアマネジメントの重要性について説明できる。	2.19	2.72	2.83	0.65	0.53	0.12
5. 社会資源を活用したケアマネジメントの必要性について説明できる。	2.17	2.67	2.73	0.56	0.50	0.06
6. 利用者の能力に応じたケアマネジメントの重要性について説明できる。	2.27	2.76	2.89	0.62	0.49	0.13
7. 家族に対する支援の重要性について説明できる。	2.28	2.77	2.88	0.60	0.49	0.11
8. 介護予防ケアマネジメントの考え方について説明できる。	2.04	2.55	2.73	0.69	0.51	0.18

自己評価平均値の推移



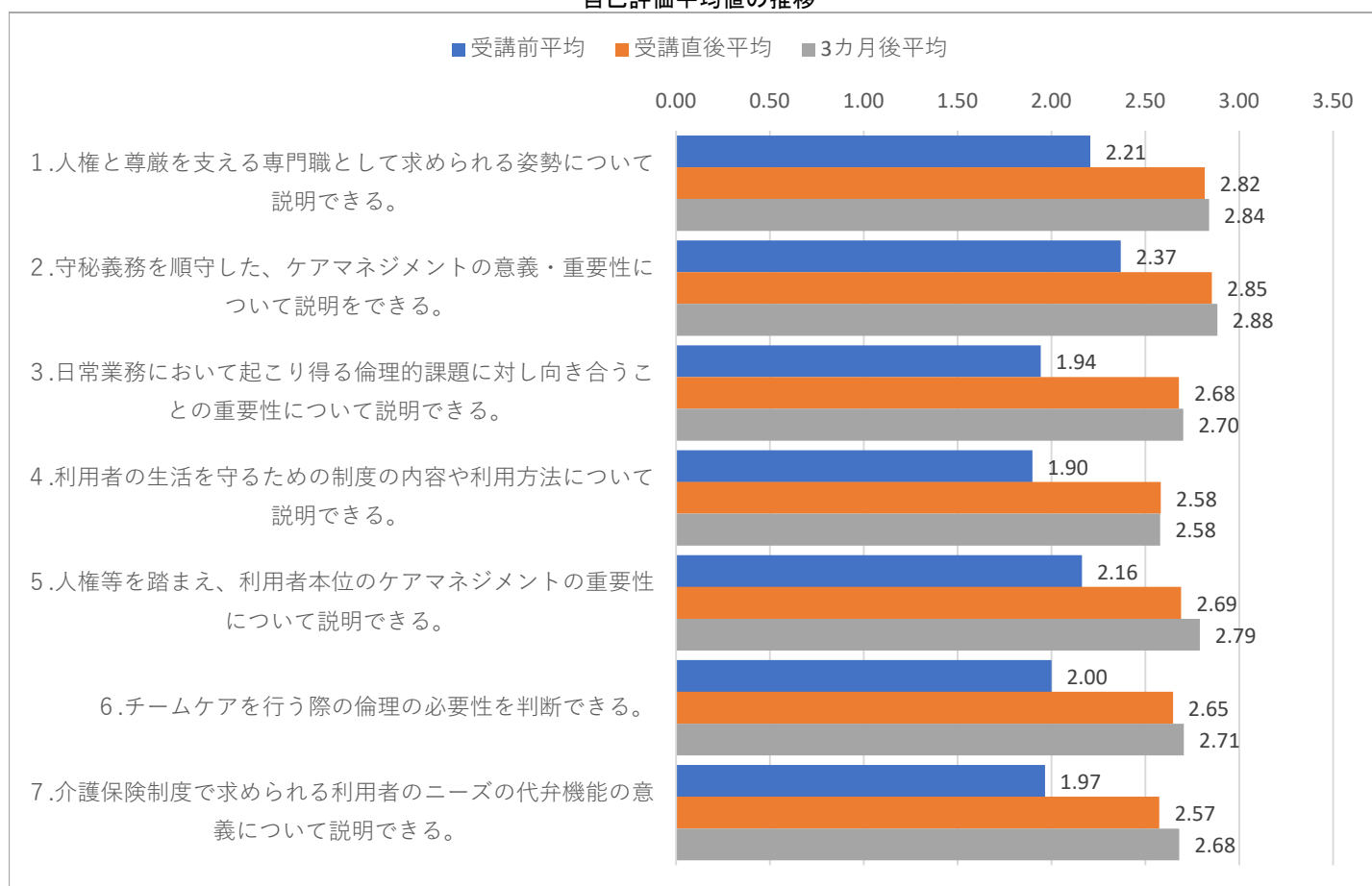
自己評価の割合の推移



④人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理

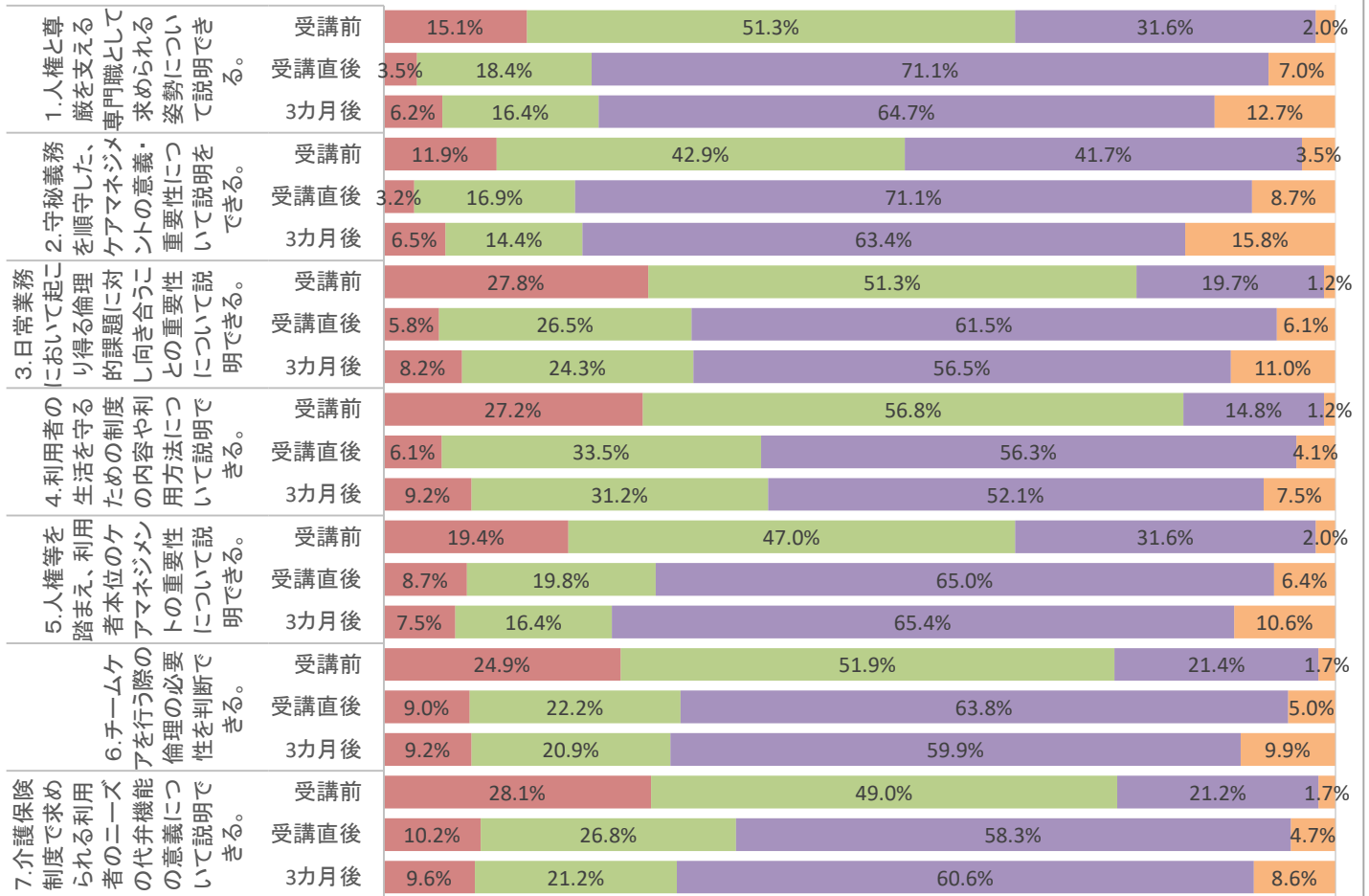
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 人権と尊厳を支える専門職として求められる姿勢について説明できる。	2.21	2.82	2.84	0.63	0.61	0.02
2. 守秘義務を順守した、ケアマネジメントの意義・重要性について説明をできる。	2.37	2.85	2.88	0.52	0.49	0.03
3. 日常業務において起こり得る倫理的課題に対し向き合うことの重要性について説明できる。	1.94	2.68	2.70	0.76	0.74	0.02
4. 利用者の生活を守るための制度の内容や利用方法について説明できる。	1.90	2.58	2.58	0.68	0.68	0.00
5. 人権等を踏まえ、利用者本位のケアマネジメントの重要性について説明できる。	2.16	2.69	2.79	0.63	0.53	0.10
6. チームケアを行う際の倫理の必要性を判断できる。	2.00	2.65	2.71	0.71	0.65	0.06
7. 介護保険制度で求められる利用者のニーズの代弁機能の意義について説明できる。	1.97	2.57	2.68	0.72	0.61	0.11

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

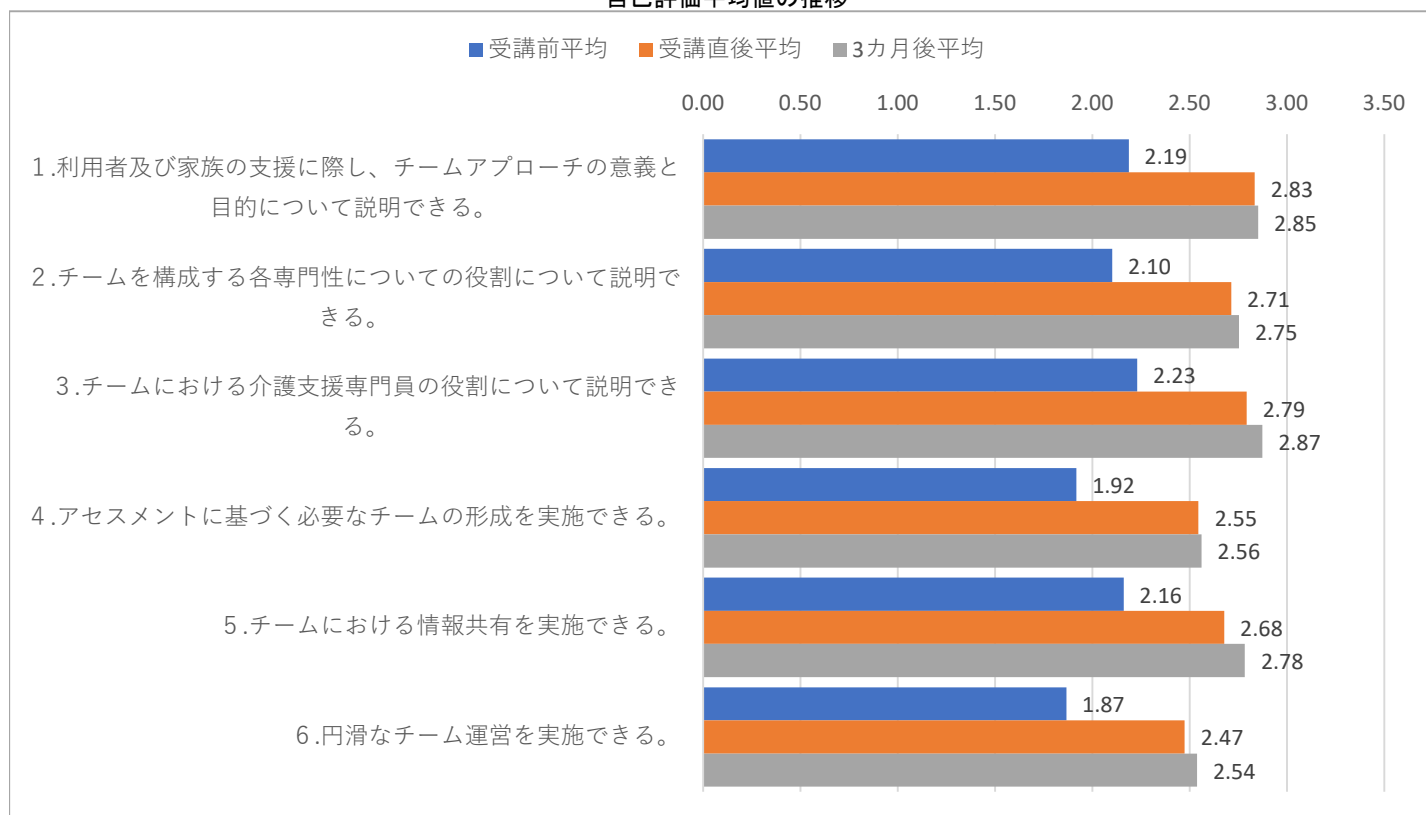
■ 1できない ■ 2あまりできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



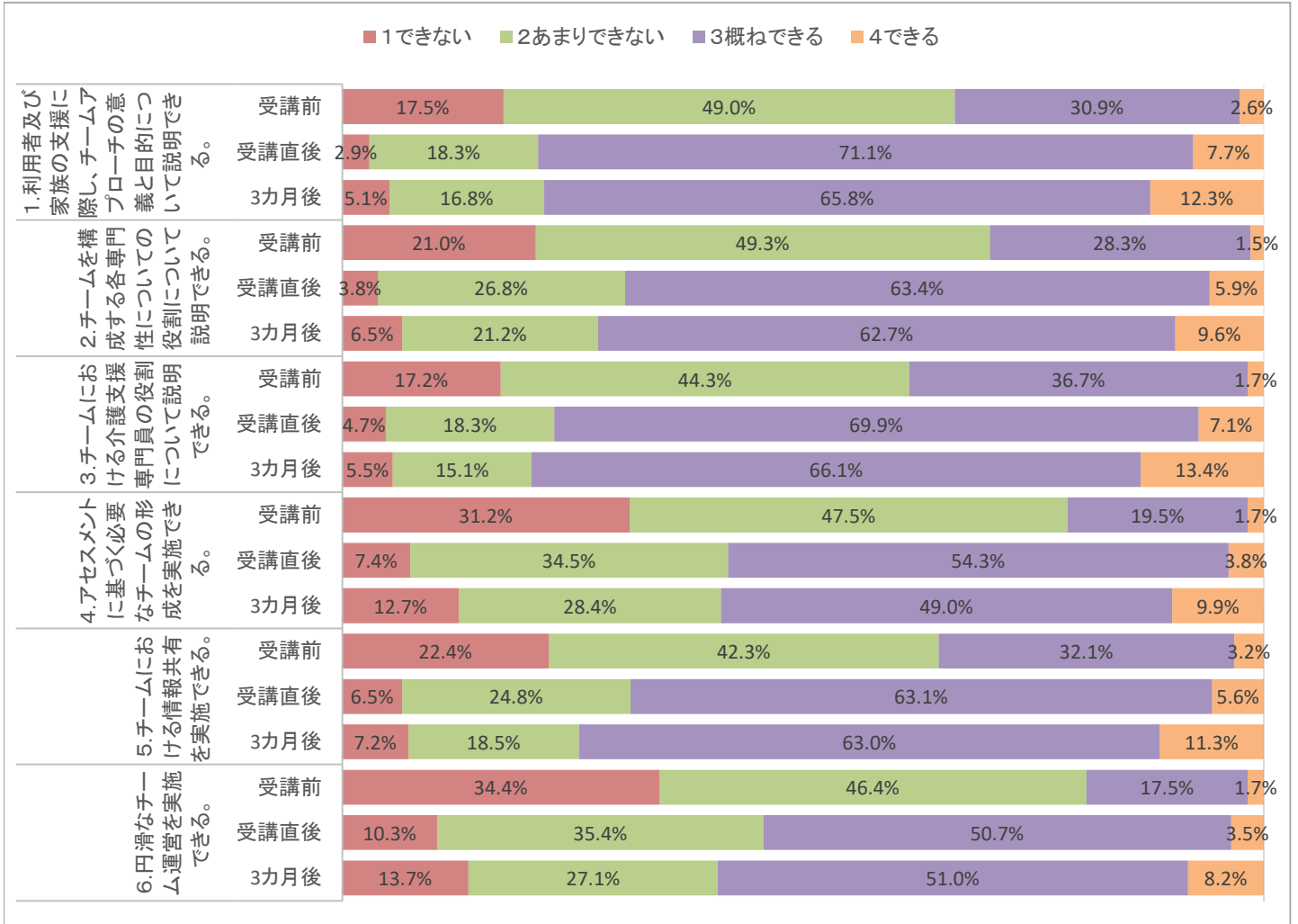
⑧介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
1. 利用者及び家族の支援に際し、チームアプローチの意義と目的について説明できる。	2.19	2.83	2.85	0.67	0.65	0.02
2. チームを構成する各専門性についての役割について説明できる。	2.10	2.71	2.75	0.65	0.61	0.04
3. チームにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.23	2.79	2.87	0.64	0.56	0.08
4. アセスメントに基づく必要なチームの形成を実施できる。	1.92	2.55	2.56	0.64	0.63	0.02
5. チームにおける情報共有を実施できる。	2.16	2.68	2.78	0.62	0.52	0.11
6. 円滑なチーム運営を実施できる。	1.87	2.47	2.54	0.67	0.61	0.06

自己評価平均値の推移



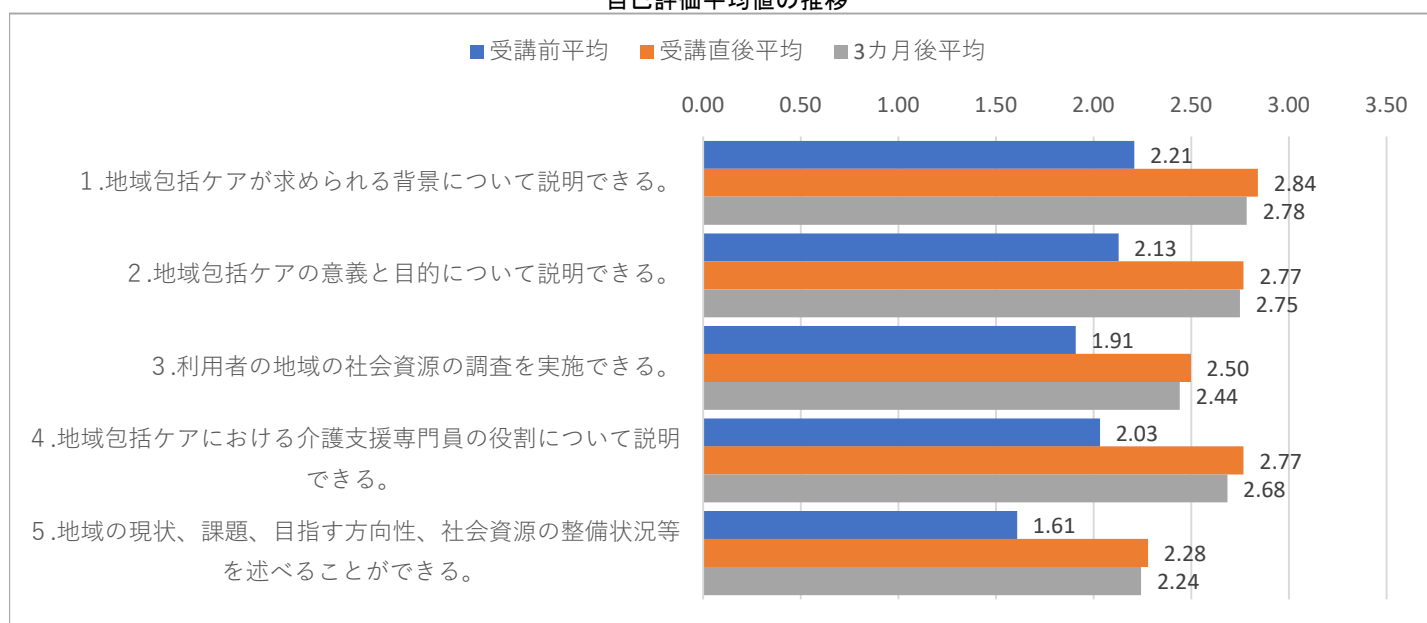
自己評価の割合の推移



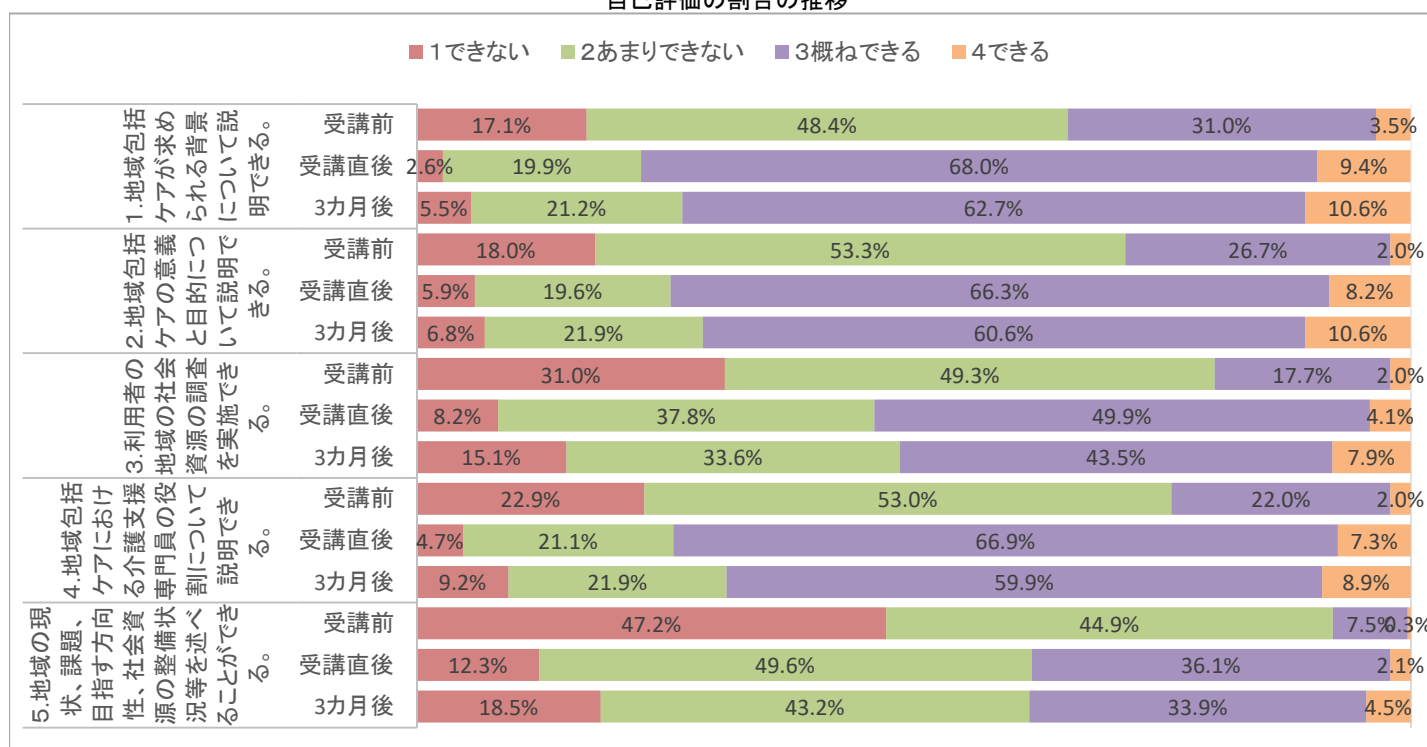
⑨地域包括ケアシステム及び社会資源

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 地域包括ケアが求められる背景について説明できる。	2.21	2.84	2.78	0.58	0.63	-0.06
2. 地域包括ケアの意義と目的について説明できる。	2.13	2.77	2.75	0.62	0.64	-0.02
3. 利用者の地域の社会資源の調査を実施できる。	1.91	2.50	2.44	0.53	0.59	-0.06
4. 地域包括ケアにおける介護支援専門員の役割について説明できる。	2.03	2.77	2.68	0.65	0.74	-0.08
5. 地域の現状、課題、目指す方向性、社会資源の整備状況等を述べる事ができる。	1.61	2.28	2.24	0.63	0.67	-0.04

自己評価平均値の推移



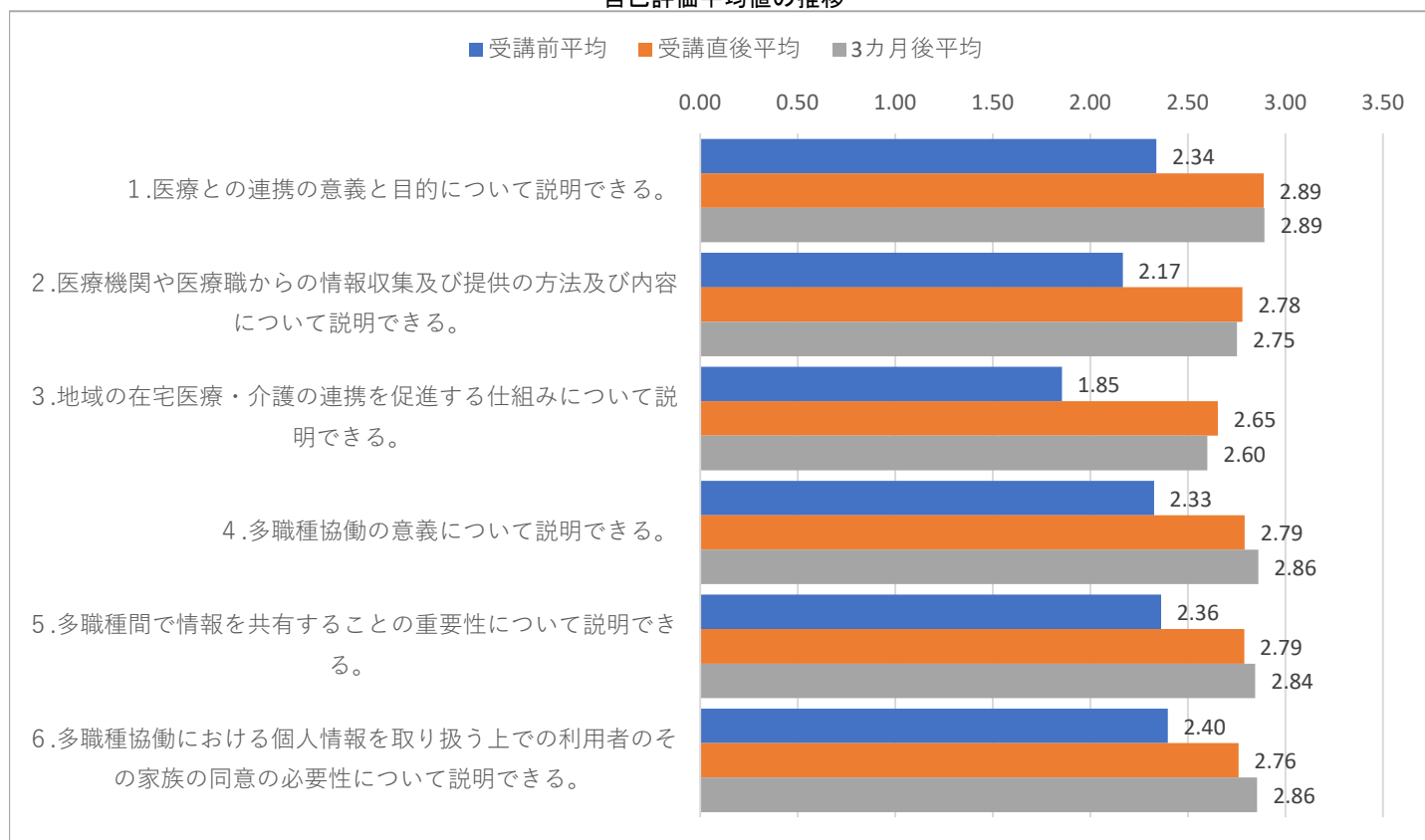
自己評価の割合の推移



⑩ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義

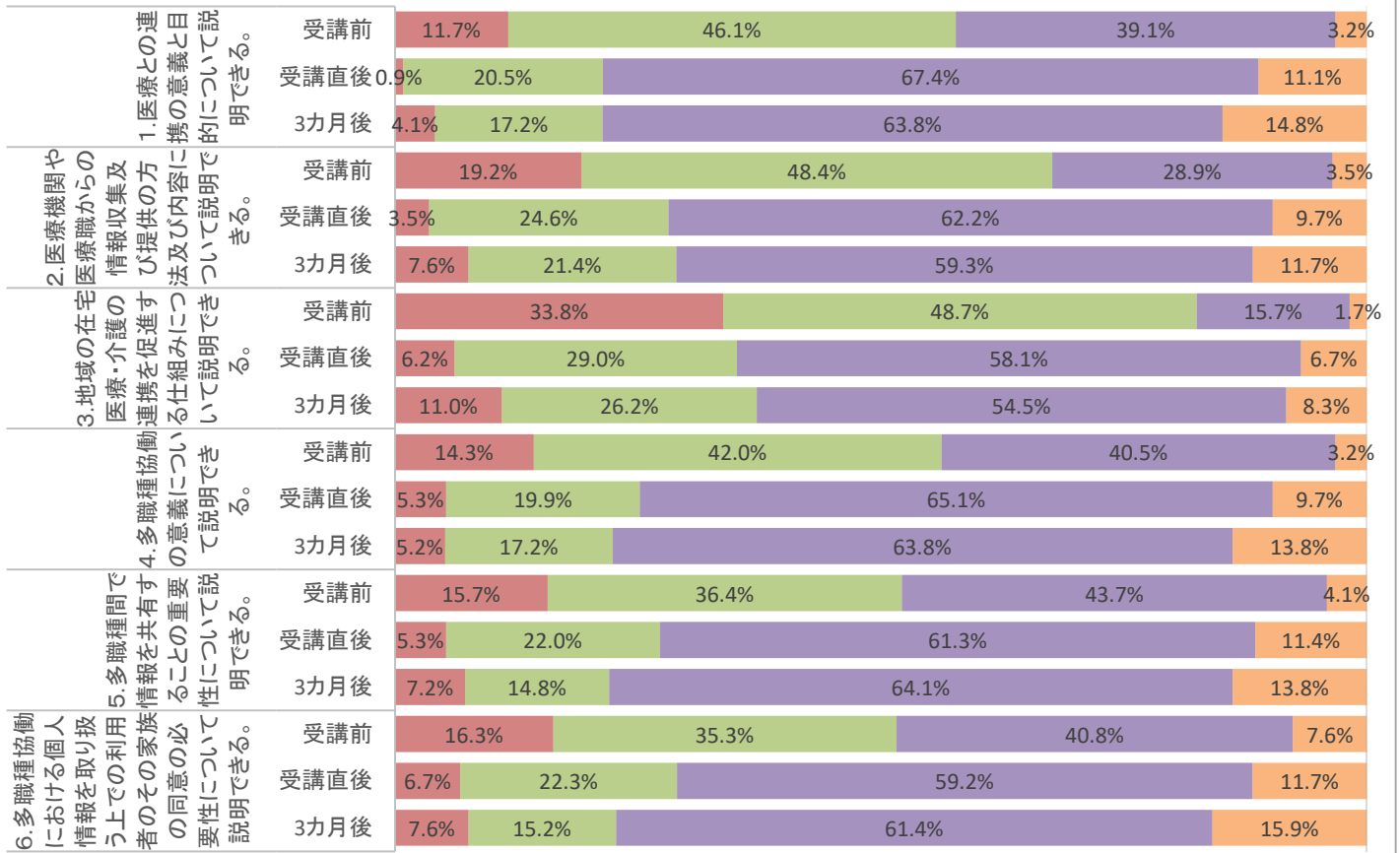
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
1. 医療との連携の意義と目的について説明できる。	2.34	2.89	2.89	0.55	0.55	0.00
2. 医療機関や医療職からの情報収集及び提供の方法及び内容について説明できる。	2.17	2.78	2.75	0.59	0.61	-0.03
3. 地域の在宅医療・介護の連携を促進する仕組みについて説明できる。	1.85	2.65	2.60	0.75	0.80	-0.05
4. 多職種協働の意義について説明できる。	2.33	2.79	2.86	0.54	0.47	0.07
5. 多職種間で情報を共有することの重要性について説明できる。	2.36	2.79	2.84	0.48	0.43	0.06
6. 多職種協働における個人情報を取り扱う上での利用者のその家族の同意の必要性について説明できる。	2.40	2.76	2.86	0.46	0.36	0.10

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

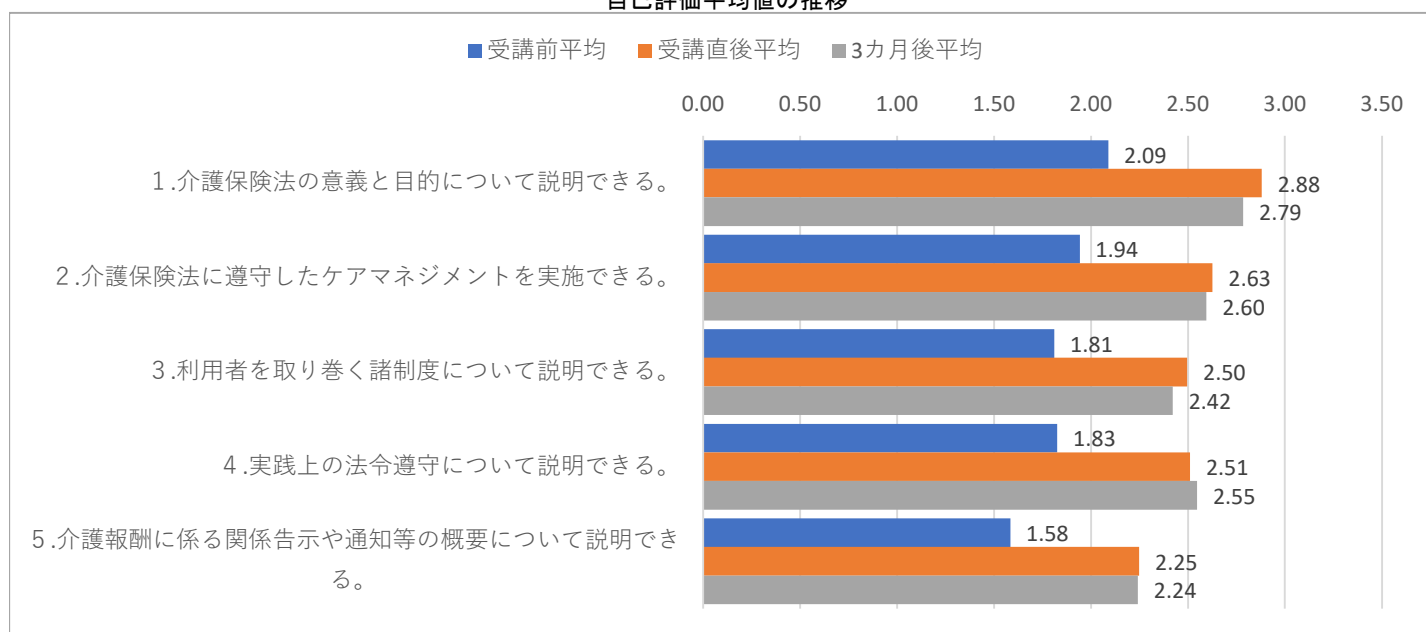
■ 1できない ■ 2あまりできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



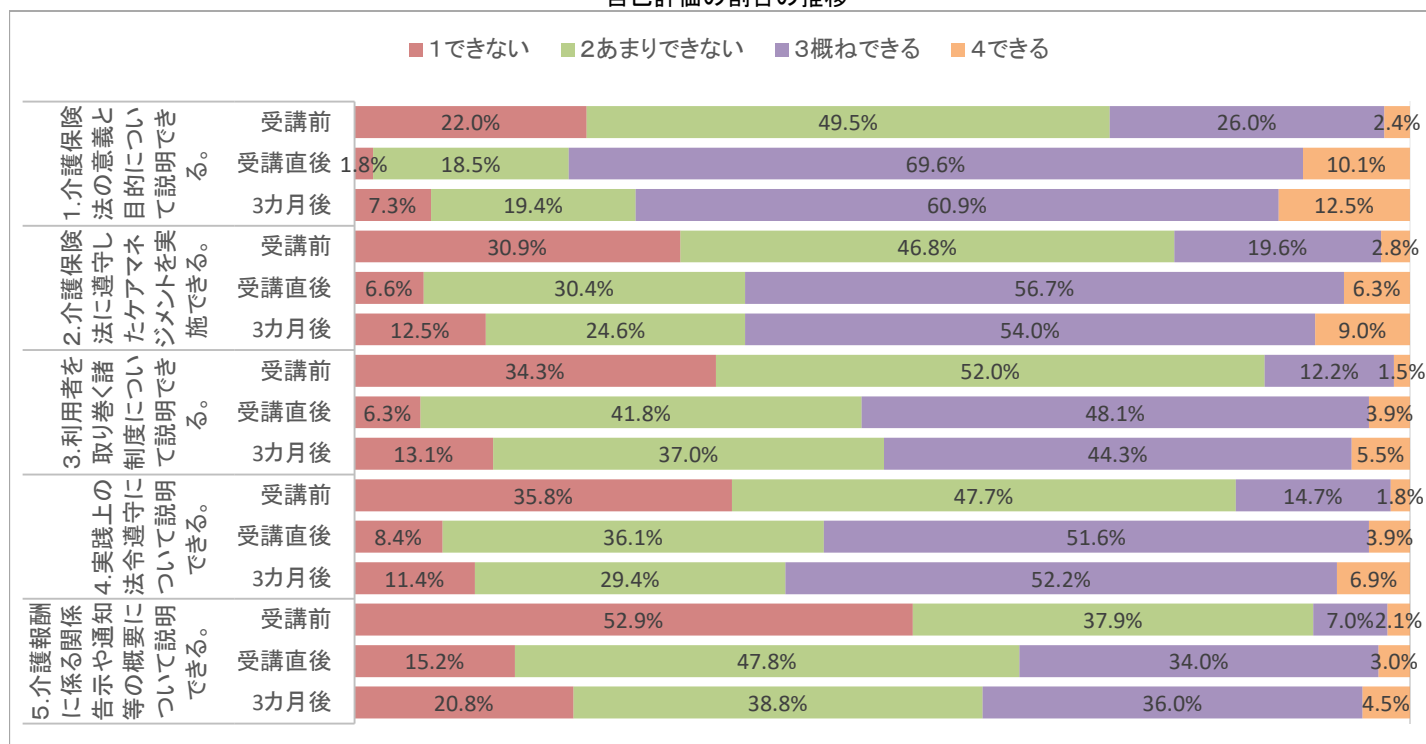
⑪ ケアマネジメントに係る法令等の理解

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 介護保険法の意義と目的について説明できる。	2.09	2.88	2.79	0.70	0.79	-0.10
2. 介護保険法に遵守したケアマネジメントを実施できる。	1.94	2.63	2.60	0.65	0.68	-0.03
3. 利用者を取り巻く諸制度について説明できる。	1.81	2.50	2.42	0.61	0.69	-0.07
4. 実践上の法令遵守について説明できる。	1.83	2.51	2.55	0.72	0.68	0.04
5. 介護報酬に係る関係告示や通知等の概要について説明できる。	1.58	2.25	2.24	0.66	0.66	-0.01

自己評価平均値の推移



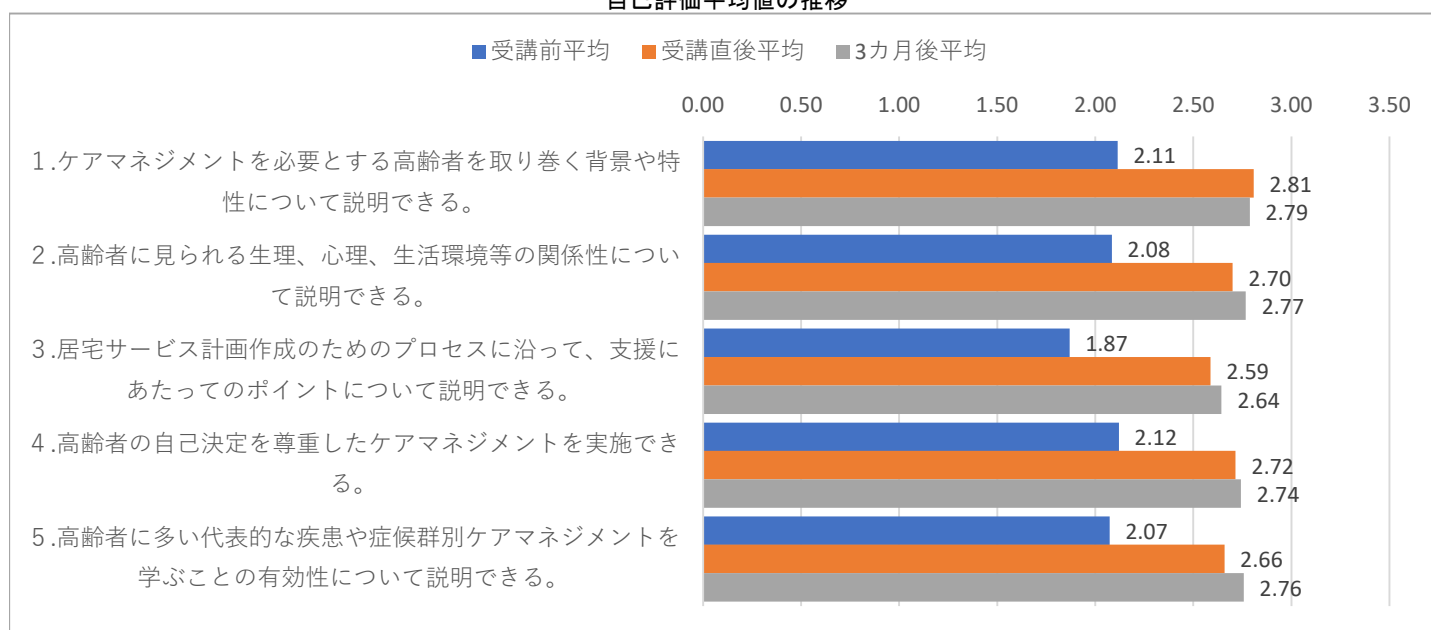
自己評価の割合の推移



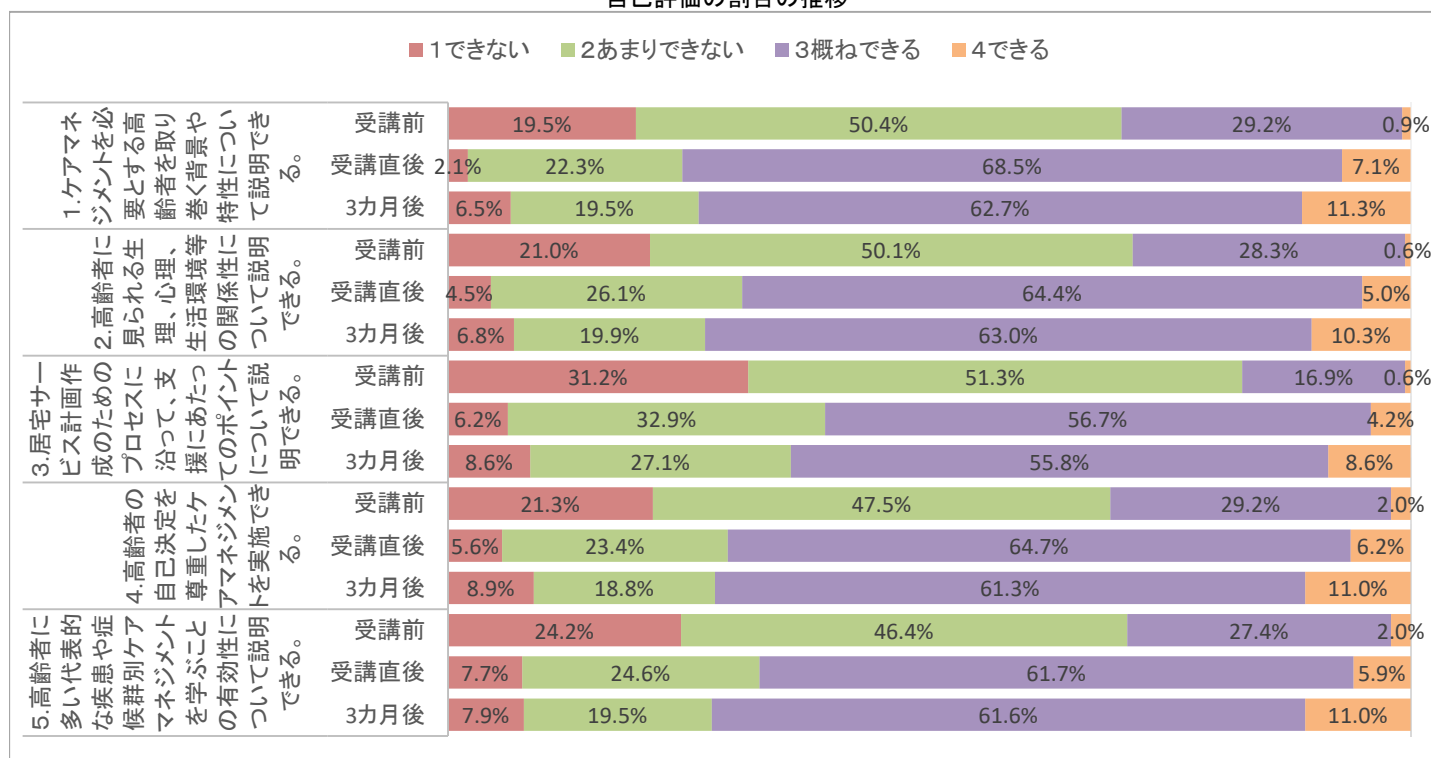
⑮-1 ケアマネジメントの展開「基礎理解」

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. ケアマネジメントを必要とする高齢者を取り巻く背景や特性について説明できる。	2.11	2.81	2.79	0.67	0.69	-0.02
2. 高齢者に見られる生理、心理、生活環境等の関係性について説明できる。	2.08	2.70	2.77	0.68	0.62	0.07
3. 居宅サービス計画作成のためのプロセスに沿って、支援にあたってのポイントについて説明できる。	1.87	2.59	2.64	0.78	0.72	0.06
4. 高齢者の自己決定を尊重したケアマネジメントを実施できる。	2.12	2.72	2.74	0.62	0.60	0.03
5. 高齢者に多い代表的な疾患や症候群別ケアマネジメントを学ぶことの有効性について説明できる。	2.07	2.66	2.76	0.68	0.59	0.10

自己評価平均値の推移



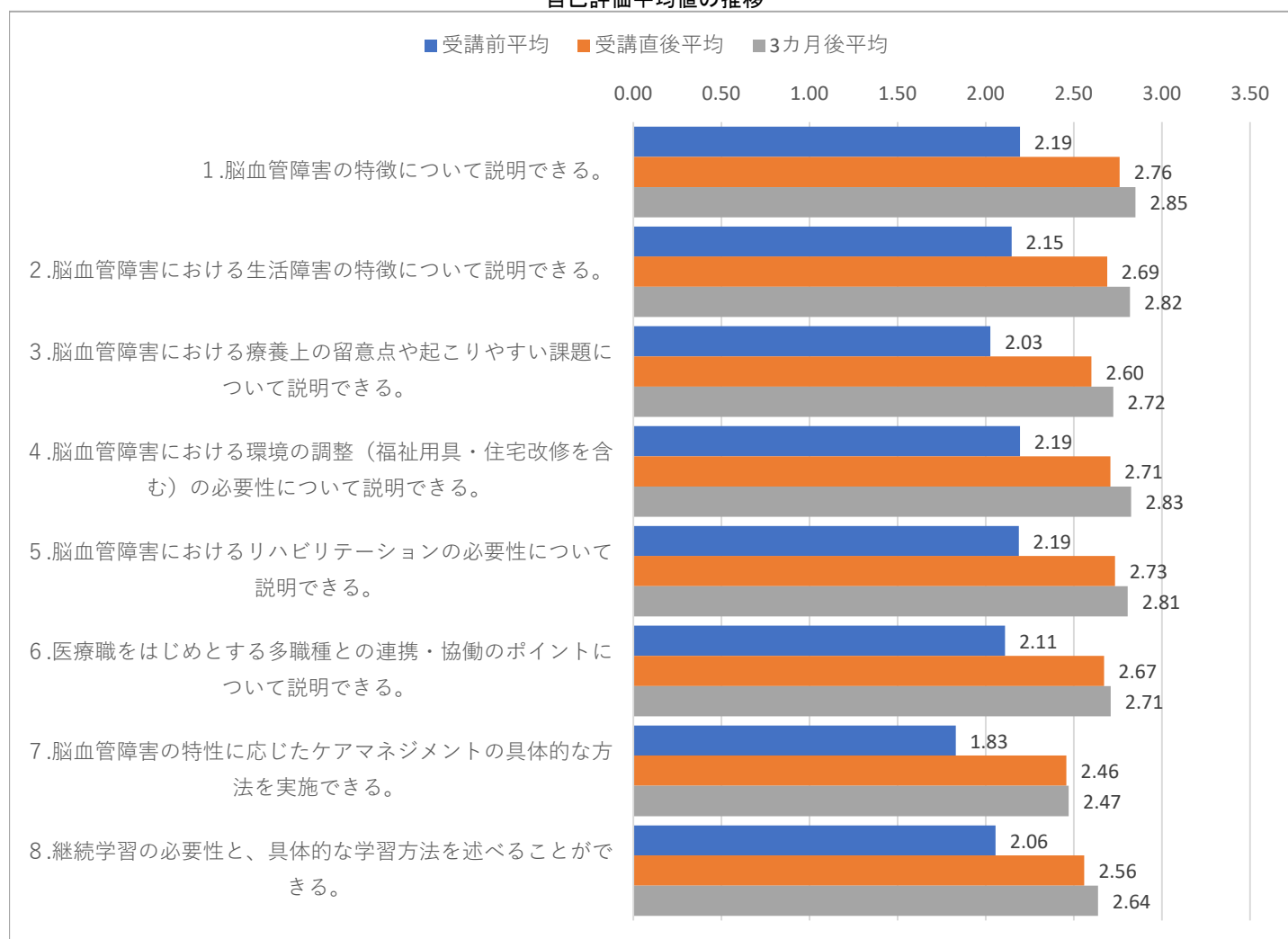
自己評価の割合の推移



⑮-2ケアマネジメントの展開「脳血管疾患に関する事例」

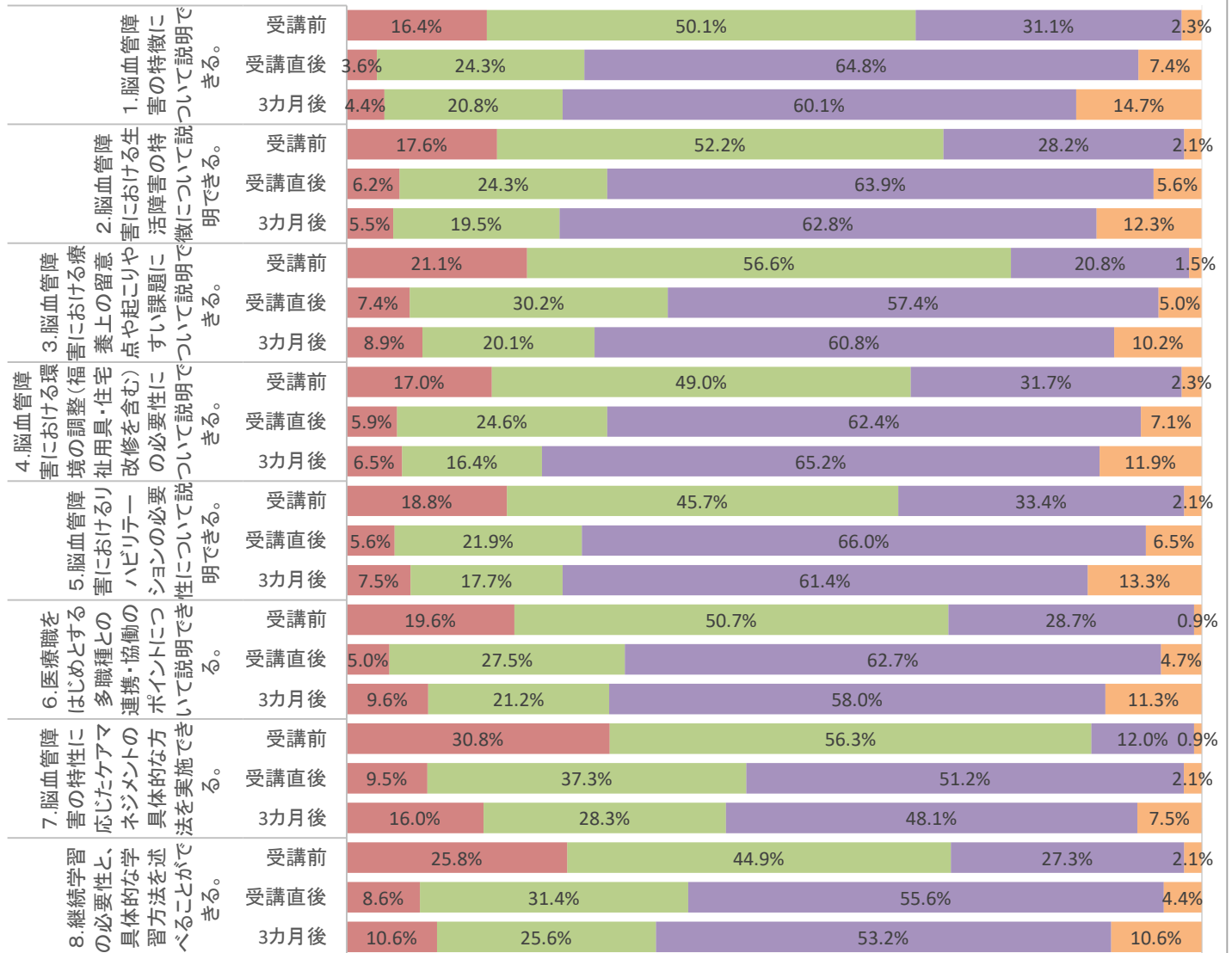
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 脳血管障害の特徴について説明できる。	2.19	2.76	2.85	0.66	0.57	0.09
2. 脳血管障害における生活障害の特徴について説明できる。	2.15	2.69	2.82	0.67	0.54	0.13
3. 脳血管障害における療養上の留意点や起こりやすい課題について説明できる。	2.03	2.60	2.72	0.70	0.57	0.12
4. 脳血管障害における環境の調整（福祉用具・住宅改修を含む）の必要性について説明できる。	2.19	2.71	2.83	0.63	0.51	0.12
5. 脳血管障害におけるリハビリテーションの必要性について説明できる。	2.19	2.73	2.81	0.62	0.55	0.07
6. 医療職をはじめとする多職種との連携・協働のポイントについて説明できる。	2.11	2.67	2.71	0.60	0.56	0.04
7. 脳血管障害の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。	1.83	2.46	2.47	0.64	0.63	0.01
8. 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。	2.06	2.56	2.64	0.58	0.50	0.08

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

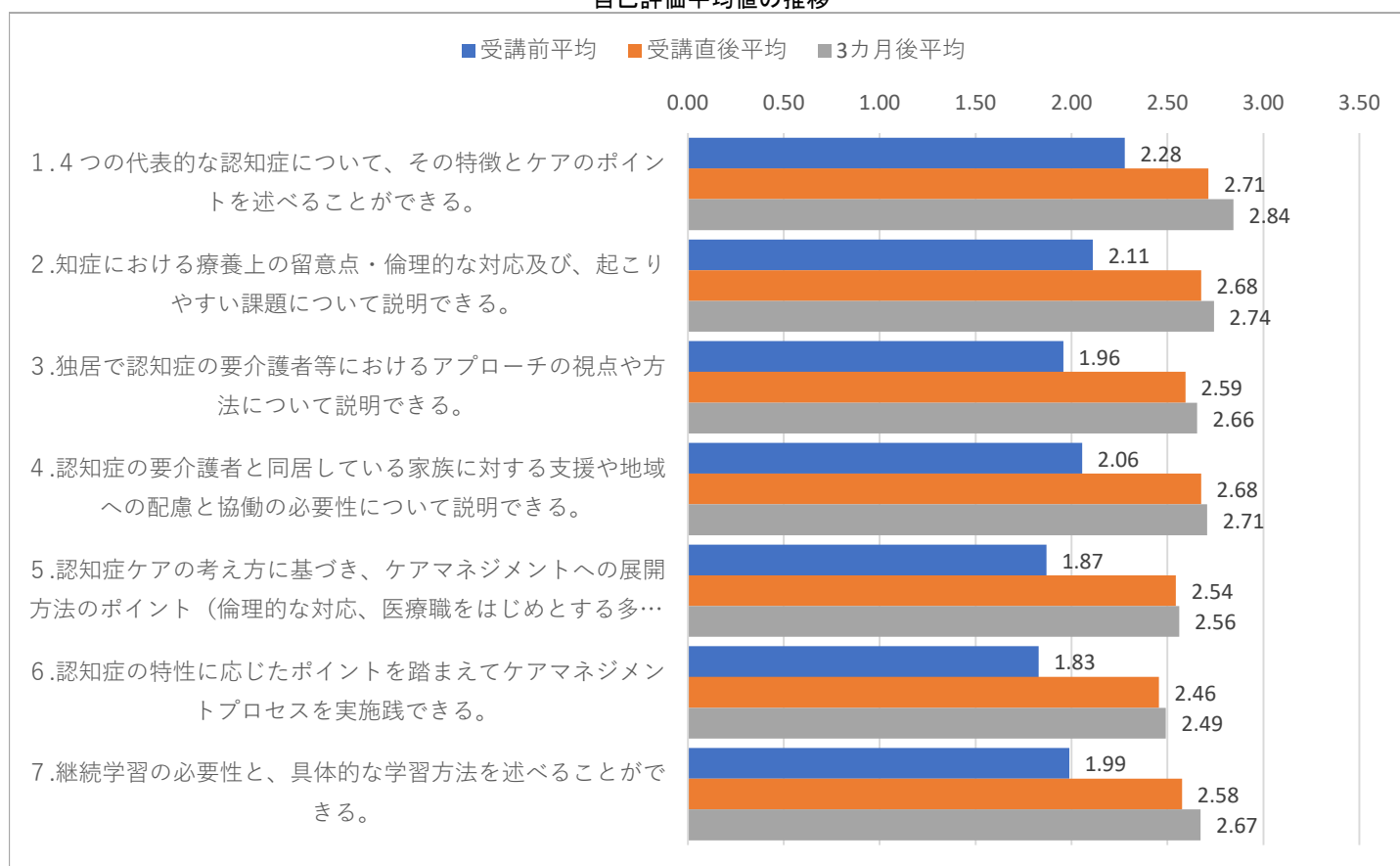
■ 1できない ■ 2あまりできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑮-3ケアマネジメントの展開「認知症に関する事例」

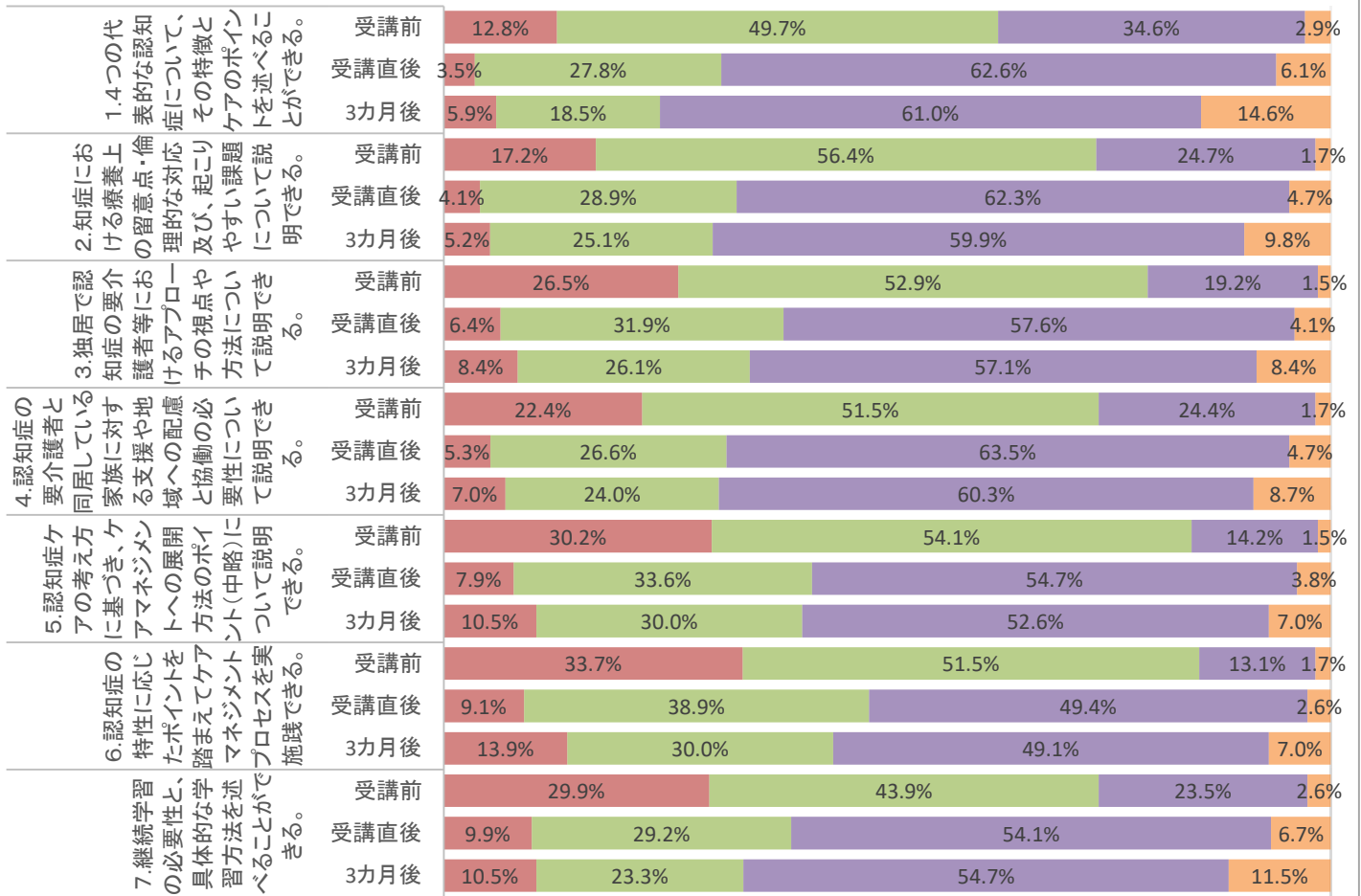
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3 増減	前→後 増減	後→3 増減
1. 4つの代表的な認知症について、その特徴とケアのポイントを述べることができる。	2.28	2.71	2.84	0.57	0.44	0.13
2. 知症における療養上の留意点・倫理的な対応及び、起こりやすい課題について説明できる。	2.11	2.68	2.74	0.63	0.56	0.07
3. 独居で認知症の要介護者等におけるアプローチの視点や方法について説明できる。	1.96	2.59	2.66	0.70	0.64	0.06
4. 認知症の要介護者と同居している家族に対する支援や地域への配慮と協働の必要性について説明できる。	2.06	2.68	2.71	0.65	0.62	0.03
5. 認知症ケアの考え方にに基づき、ケアマネジメントへの展開方法のポイント（倫理的な対応、医療職をはじめとする多職種連携、行動・心理症状（BPSD）、環境調整へのアプローチ等について説明できる。	1.87	2.54	2.56	0.69	0.67	0.02
6. 認知症の特性に応じたポイントを踏まえてケアマネジメントプロセスを実施できる。	1.83	2.46	2.49	0.66	0.63	0.04
7. 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べるができる。	1.99	2.58	2.67	0.68	0.59	0.10

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

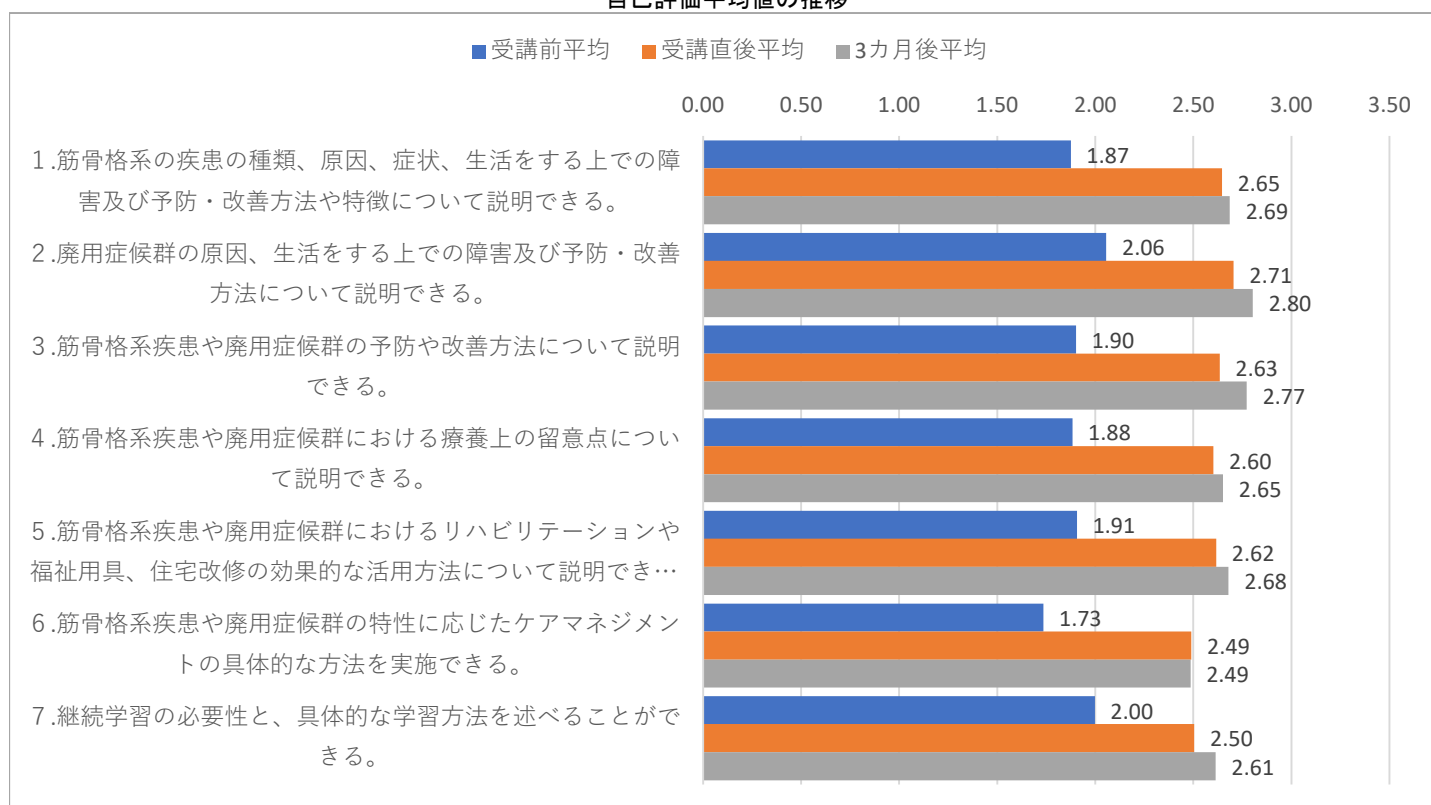
■ 1できない ■ 2あまりできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



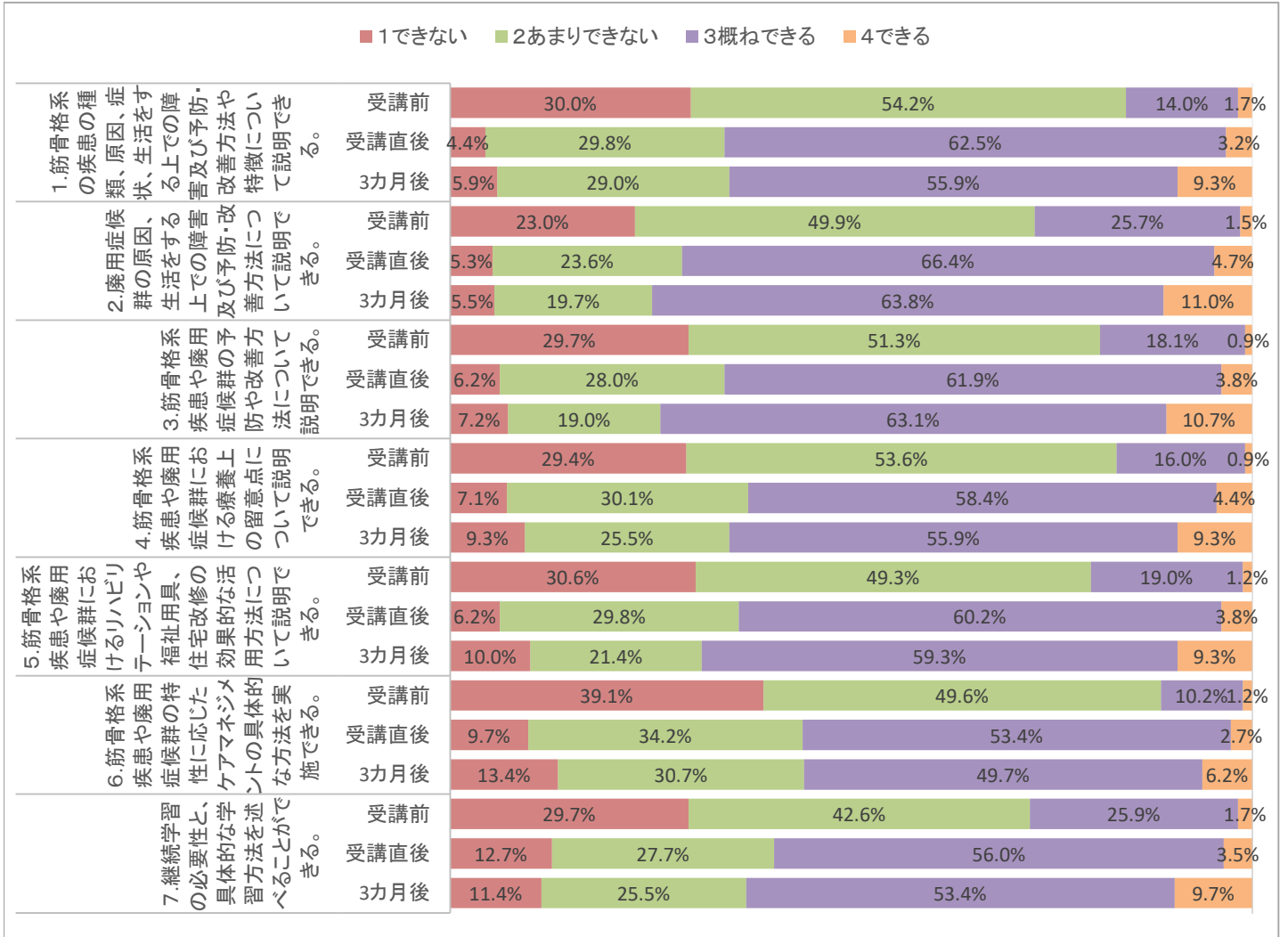
⑮-4ケアマネジメントの展開「筋骨格系疾患及び廃用症候群に関する事例」

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 筋骨格系の疾患の種類、原因、症状、生活をする上での障害及び予防・改善方法や特徴について説明できる。	1.87	2.65	2.69	0.81	0.77	0.04
2. 廃用症候群の原因、生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。	2.06	2.71	2.80	0.75	0.65	0.10
3. 筋骨格系疾患や廃用症候群の予防や改善方法について説明できる。	1.90	2.63	2.77	0.87	0.73	0.14
4. 筋骨格系疾患や廃用症候群における療養上の留意点について説明できる。	1.88	2.60	2.65	0.77	0.72	0.05
5. 筋骨格系疾患や廃用症候群におけるリハビリテーションや福祉用具、住宅改修の効果的な活用方法について説明できる。	1.91	2.62	2.68	0.77	0.71	0.06
6. 筋骨格系疾患や廃用症候群の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。	1.73	2.49	2.49	0.75	0.75	0.00
7. 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。	2.00	2.50	2.61	0.62	0.51	0.11

自己評価平均値の推移



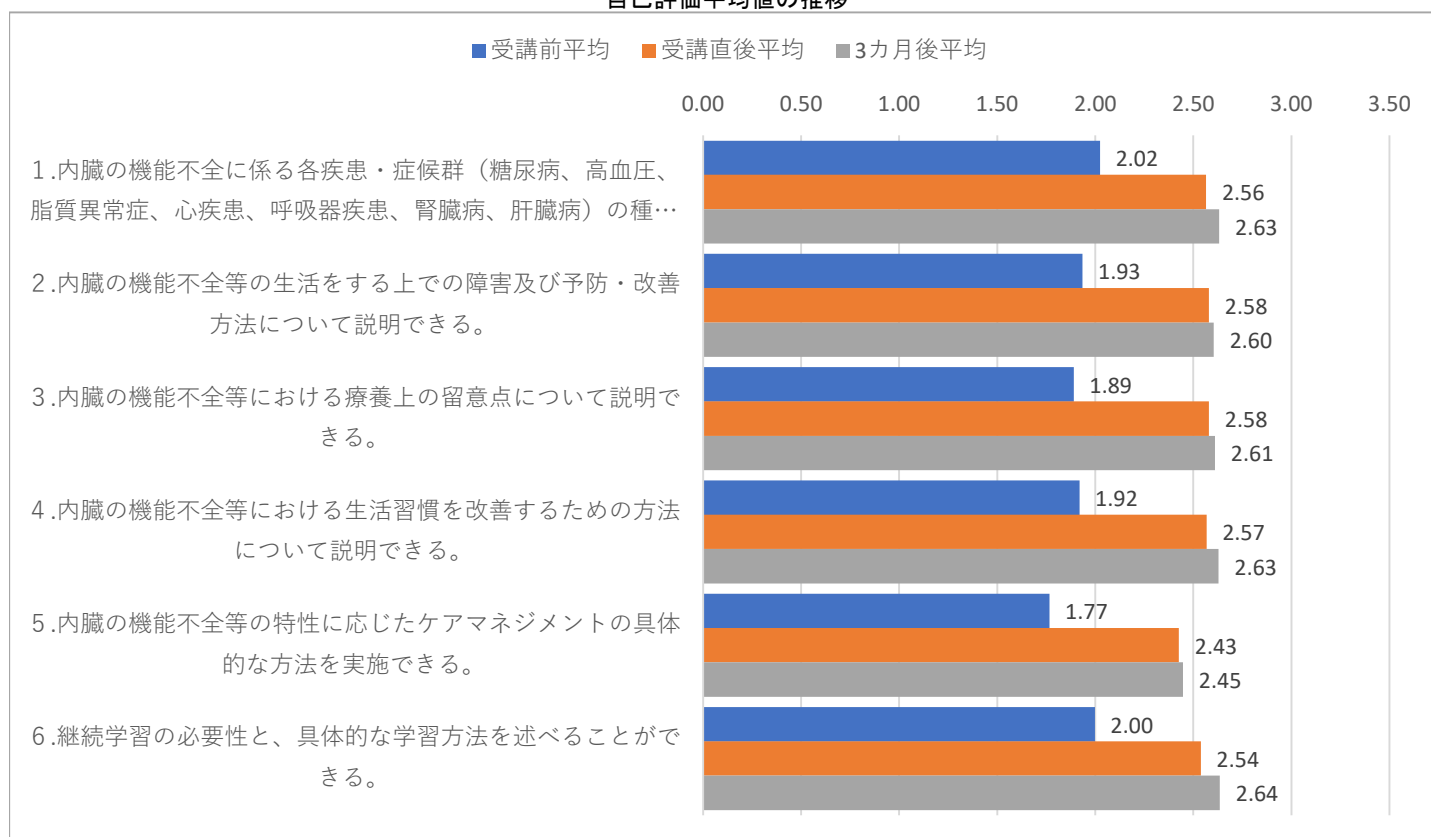
自己評価の割合の推移



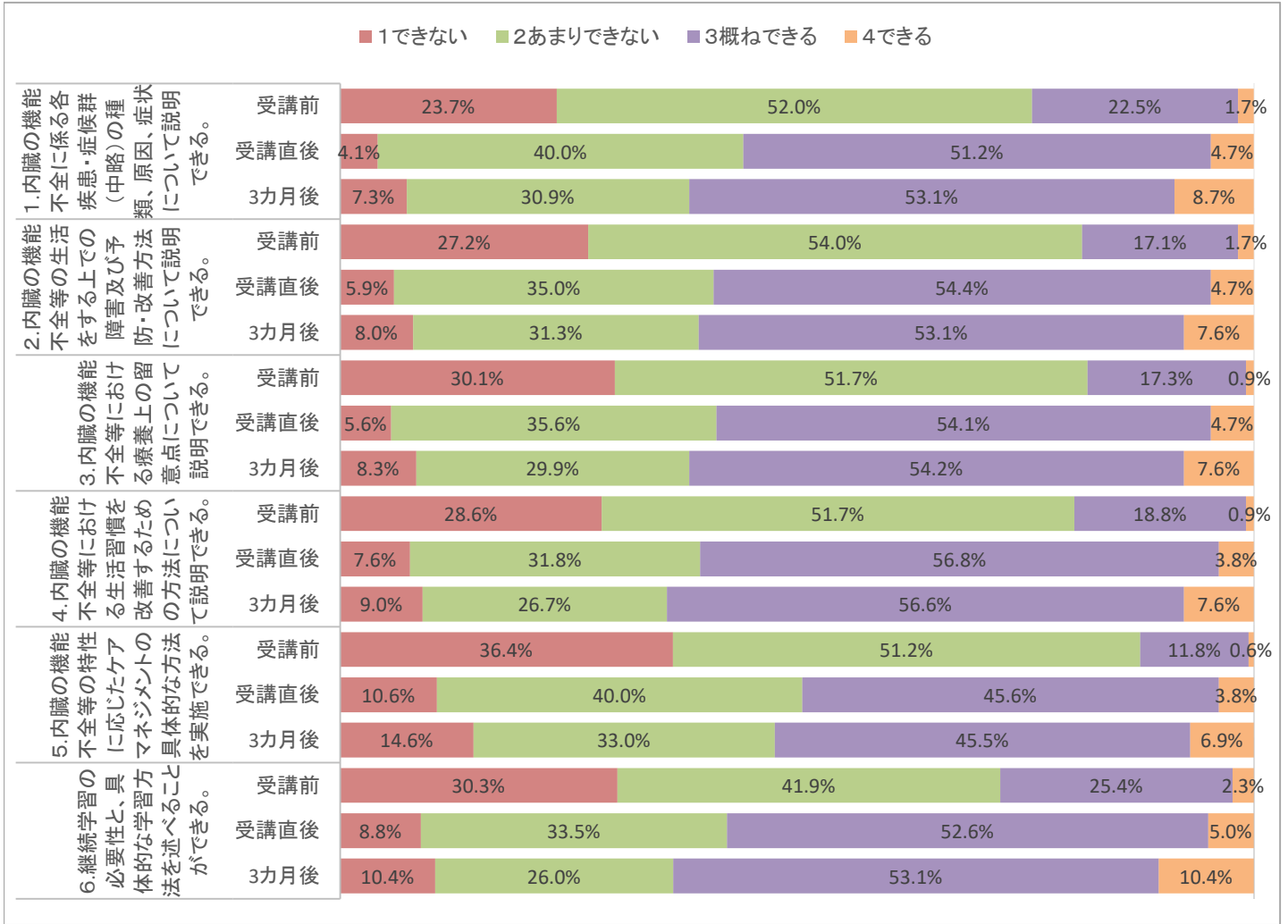
⑮-5ケアマネジメントの展開「内臓の機能不全（中略）に関する事例」

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 内臓の機能不全に係る各疾患・症候群（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病）の種類、原因、症状について説明できる。	2.02	2.56	2.63	0.61	0.54	0.07
2. 内臓の機能不全等の生活をする上での障害及び予防・改善方法について説明できる。	1.93	2.58	2.60	0.67	0.65	0.02
3. 内臓の機能不全等における療養上の留意点について説明できる。	1.89	2.58	2.61	0.72	0.69	0.03
4. 内臓の機能不全等における生活習慣を改善するための方法について説明できる。	1.92	2.57	2.63	0.71	0.65	0.06
5. 内臓の機能不全等の特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。	1.77	2.43	2.45	0.68	0.66	0.02
6. 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。	2.00	2.54	2.64	0.64	0.54	0.10

自己評価平均値の推移



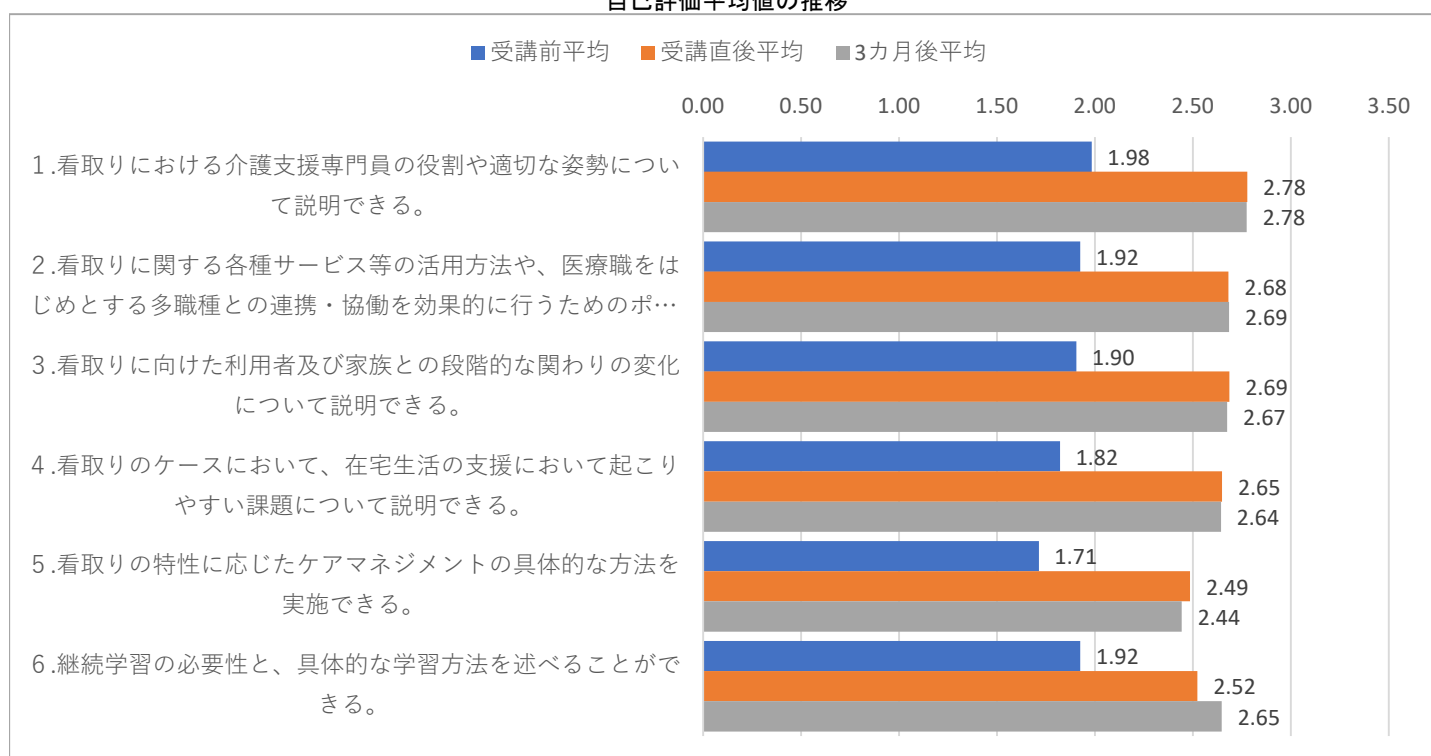
自己評価の割合の推移



⑮-6ケアマネジメントの展開「看取りに関する事例」

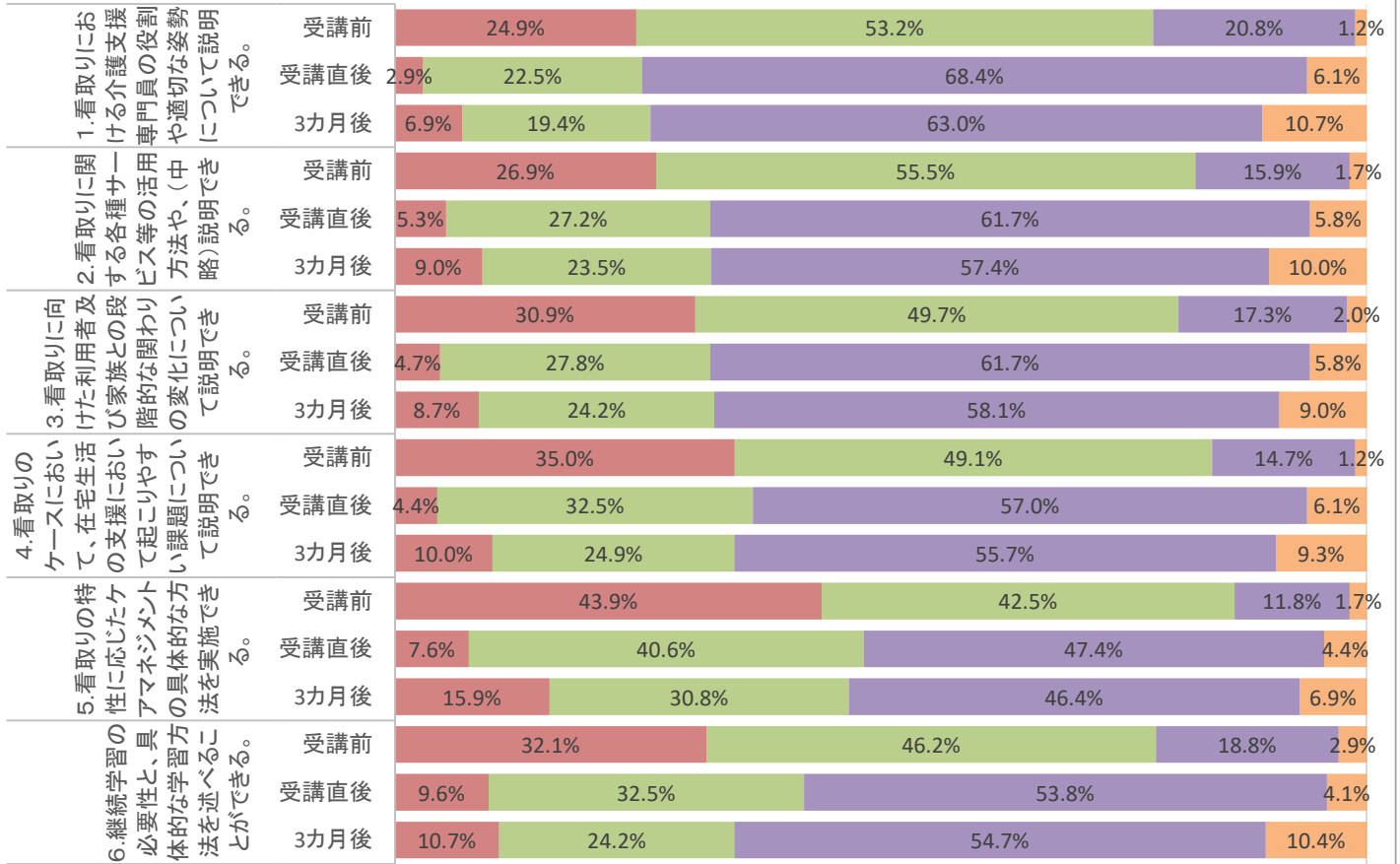
	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 看取りにおける介護支援専門員の役割や適切な姿勢について説明できる。	1.98	2.78	2.78	0.79	0.80	0.00
2. 看取りに関する各種サービス等の活用方法や、医療職をはじめとする多職種との連携・協働を効果的に行うためのポイントについて説明できる。	1.92	2.68	2.69	0.76	0.76	0.00
3. 看取りに向けた利用者及び家族との段階的な関わりの変化について説明できる。	1.90	2.69	2.67	0.77	0.78	-0.01
4. 看取りのケースにおいて、在宅生活の支援において起こりやすい課題について説明できる。	1.82	2.65	2.64	0.82	0.83	-0.01
5. 看取りの特性に応じたケアマネジメントの具体的な方法を実施できる。	1.71	2.49	2.44	0.73	0.77	-0.04
6. 継続学習の必要性と、具体的な学習方法を述べることができる。	1.92	2.52	2.65	0.72	0.60	0.12

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

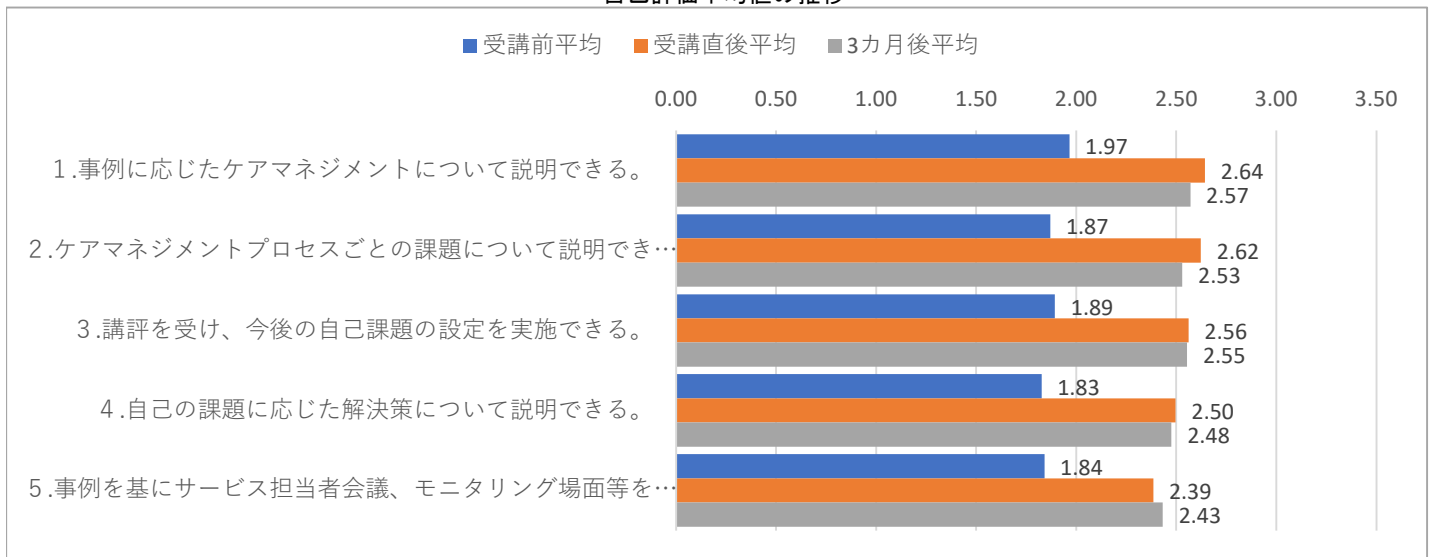
■ 1できない ■ 2あまりできない ■ 3概ねできる ■ 4できる



⑩アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
1. 事例に応じたケアマネジメントについて説明できる。	1.97	2.64	2.57	0.61	0.68	-0.07
2. ケアマネジメントプロセスごとの課題について説明できる。	1.87	2.62	2.53	0.66	0.75	-0.09
3. 講評を受け、今後の自己課題の設定を実施できる。	1.89	2.56	2.55	0.66	0.67	-0.01
4. 自己の課題に応じた解決策について説明できる。	1.83	2.50	2.48	0.65	0.67	-0.02
5. 事例を基にサービス担当者会議、モニタリング場面等を模擬的に実施できる。	1.84	2.39	2.43	0.59	0.54	0.05

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

